SDGs GUNMA BUSINESS **PRACTICE** SDGsぐんま ビジネスプラクティス



株式会社拓殖商会

住 所: 伊勢崎市境伊与久 3097-1 代 表 者: 塩谷剛史

T E L: 0270-76-3683 資 本 金: 1,000万円 Mail: k307@ngp.gr.jp

従業員数:24人 URL: https://www.takushoku-shokai.co.jp



WEB サイト

伊勢崎市

設立年月日: 1974年7月2日

● 事業者紹介

伊勢崎市で自動車解体業を営み、素材の再利用と自動車 リサイクルパーツを生産・販売。社員が「明るく楽しく」働 くことをテーマに取り組んでいます。また一般の人々向け の窓口として、全国ネットの廃車王伊勢崎店の運営を行い、

使用済み自動車を 入庫させ、限られ た資源の循環型社 会の形成に尽力し ています。



経緯・背景

1971年、自動車業界が発展する最中、創業。 いち早く「資 源の枯渇」が社会問題になると考え、素材の再利用を検討。 1997年からは経済産業省認可の NGP グループ (日本自 動車リサイクル事業協同組合)に加盟し、使えるものは再利 用する「自動車リサイクルパーツ」に着目。数多くの部品を 生産・販売することで、CO2の削減と省エネに貢献。「もっ とリサイクルパーツを使ってほしい」「もっと環境ビジネスを 知ってほしい」という意識から SDGs に取り組み、創業当 初からの「限られた資源を大切にする」という考え方をさら に強化し、STOP 温暖化や再資源化の実施により、社会課 題の解決に貢献しています。

● 具体的な取組や成果

使用済み自動車を仕入れ、自動車のリサイクルパーツを生産・販売 地元の人々にも窓口を広げ、近隣地域にも貢献する循環型社会を形成します

【具体的な取組】

●使用済み自動車の仕入れ

県内を中心にディーラーや保険会社から使用済み自動車 の仕入れを行い、資源の循環を図るとともに放置車輌や災 害時の車輌の引き上げ運搬を支援。地域密着型の窓口とし て廃車王を運営し、環境ビジネスの周知をしています。

- ●自動車リサイクルパーツの生産・販売 全国ネットの共通在庫を生かし、全国にリサイクルパーツ を提供。安心・安価な商品を展開しています。
- ●地域や行政との連携強化

近隣や行政とパートナーシップを形成し、清掃活動や訓練 用の車輌貸出など地域問題や環境問題に貢献しています。

【成果】

- ●地域密着型の窓口として運営している廃車王を通し、近 隣の方からの相談が増加。地域の人にも貢献できるよう になりました。
- ●年間 9,000 点前後のリサイクルパーツを販売し、約 50 万kgの CO2 を削減しました。
- ●伊与久沼周辺の清掃活動において、伊勢崎市とアダプト プログラムを締結しました。
- ●地域活性化とリサイクルの周知活動として、群馬クレイン サンダーズを支援しています。
- SDGs の勉強を定期的に行うことで従業員の意識が変わ り、ごみの分別等、職場の改善活動が活性化しました。



自動車リサイクルパーツを常時約6.000点保管し、全国からの受注 に対応している自動倉庫



機材だけに頼らず、手作業で取り外しを行い、精緻な解体で細かく精 度の高い素材分別を進めます

当社にとっての SDGs ビジョン

サステナビリティの充実で 3R から 5R の時代へ

創業からの 50 年は、3R に取り組んできました が、これからの50年は、リフューズとリペアを加 えた 5R にも積極的に取り組んでいきます。「守る CSR」と「伸ばす CSR」の両面から考え、電気自 動車をはじめとする次世代自動車の対応にも取り 組み、持続可能な住みよい環境を提供することを 目指します。

今後の展望と求めるパートナー像

次世代自動車のリサイクルで 新しい循環サイクルを構築

今までのガソリン車とは構造や部品も違う次世 代自動車のリサイクルについて、開発サイドや販売 サイドと一緒に考え、新しい循環サイクルを構築。 自動車関連会社との提携を強化し、リサイクルパー ツを周知して認知度を向上させ、省エネルギーを 推進します。

024 | SDGs GUNMA BUSINESS PRACTICE SDGs GUNMA BUSINESS PRACTICE | 025